

## 第60回 長野県老人クラブ大会 会長挨拶要旨

皆さん、こんにちは

長野県老人クラブ連合会会長の近藤定利です。

本日、ここ塩尻市において、県下各地から大勢の皆さんの御参加をいただき「第60回 長野県老人クラブ大会」が開催できましたことに対し、まずもって感謝を申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、大変お忙しい中、ご臨席を賜りありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

さて、人生100年時代を迎えようとしている今日、高齢者が健康で、仲間と支え合いながら地域づくりを進めていくことが求められており、こうした活動を、半世紀以上にわたり推進してきたのが、私たち老人クラブの存在であります。

ご案内のとおり、長野県老人クラブ連合会は、全国に先駆け、昭和35年に設立されて以来、高齢者の生きがいと健康づくり、住みよい地域づくりを実現するため、様々な活動を

通じて、地域コミュニティーの重要な役割を果たしてまいりました。

そして、長年にわたり先人たちが築いてきた活動は、各地域で多大な成果をあげ、地域に根づいた活動として今日まで受け継がれてきております。

今後、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で自立した生活を営むことへの期待が高まる中、高齢者の健康長寿、フレイル予防につながる老人クラブでの活動に対する期待は、益々大きくなってきています。

私は、こうした高齢者や地域の期待に十分応えていくためには、現在老人クラブが抱えている大きな課題を、まず、解決していかなければならないと思っています。

その大きな課題とは、私たちの仲間である会員数の減少であります。

会員数の減少は、長野県だけではなく、全国の老人クラブの共通の課題であり、一昨年度までの「全国100万人会員増強運動」に代え、昨年度から長野県では「会員増強3ヶ年運動」を実施しているところであります。

新たな仲間への呼びかけ、生きがいつくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりを、県下の各連合会、クラブで実施しております。

そのためには、老人クラブが、地域のニーズに的確に対応できる組織でなければならず、活動のための、魅力づくり事業として「NAGANO SCカード」の発行をはじめ、さまざまな取り組みをいはじめたところです。

また、後ほどお披露目いたしますが、昭和36年に発表した「老人クラブの歌」に代え、令和の時代に合った新しいテーマソングを作りました。

合わせて、社会情勢が大きく変化する中、より多くのの高齢者が加入しやすい環境づくりとして、長野県老人クラブ連合会の名称を、来年4月から「長野県シニアクラブ連合会」と改め、令和の時代に即した老人クラブとして進んでまいります。

私たち一人ひとりが、今までと変わらず、老人クラブ活動に自信と誇りを持ち、仲間づくりの輪を広げ、引き続き高齢者や地域の期待に応え福祉の担い手としていきたいものと思います。

本日は、長年にわたり老人クラブの育成・発展にご尽力された皆様の表彰を申し上げ、「私の主張」は、塩尻市在住の清水倫成さんから「人生100年時代のわたしの知恵」と題して発表していただきます。

そして、NPO ブロードバンドスクール協会理事 若宮正子 さんから、「シニア世代が新常識時代を生きるためには」と題してご

講演をいただきます。

どうか皆様から、本日の発表や講演の内容を、地域の方々にお伝えいただき、今後の活動の参考にしていただければと思っております。

最後になりますが、本日の大会が皆様方に実り多きものとなりますことを期待申し上げるとともに、会員一人ひとりが担い手となり、楽しいクラブづくり、安全・安心の地域づくりのために活躍されることを祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

令和2年10月21日

一般財団法人 長野県老人クラブ連合会

会 長 近 藤 定 利